

(お知らせ)

令和7年8月29日
防 衛 省

スタンド・オフ防衛能力に関する事業の進捗状況について

防衛省・自衛隊は、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除するため、スタンド・オフ防衛能力を強化することとしています。

この能力を早期に構築するため、国産スタンド・オフ・ミサイルの早期取得に向けた取組を進めているところです。

今般、国産スタンド・オフ・ミサイルのうち、島嶼防衛用高速滑空弾について、以下のとおりの最終発射試験（第2次発射試験）を行い、滑空して飛しょうを確認する等、研究開発の完了に目途を得られました。

島嶼防衛用高速滑空弾は本年度中に研究を完了する計画であり、引き続きスタンド・オフ防衛能力の早期構築に向けて取り組んでまいります。

1 目 的

島嶼防衛用高速滑空弾の研究に必要なデータの取得

2 第2次発射試験日

- (1) 第1回発射 令和7年 6月28日（土）（日本時間）
- (2) 第2回発射 令和7年 7月12日（土）（日本時間）
- (3) 第3回発射 令和7年 7月19日（土）（日本時間）
- (4) 第4回発射 令和7年 8月 2日（土）（日本時間）
- (5) 第5回発射 令和7年 8月16日（土）（日本時間）

3 試験場所

米国（カリフォルニア州）

(別紙)

(参考) 島嶼防衛用高速滑空弾の研究・量産

島嶼防衛用高速滑空弾について、研究を進めるとともに、部隊配備を可能な限り早期に実現するため、令和5年度より量産に着手しています。

和暦	30年度	一	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度
西暦	2018	一	2023	2024	2025	2026	2027
	研究						
					▽第1次発射試験		
			早期量産		▽第2次発射試験 (今回)		

備考：部隊配備開始時期は、令和7年度

発射試験の写真

